

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育の在り方を考える。

I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。また、今年度も昨年度と同様に、甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、研修を深めていきたいと考えた。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 7月30日(水) PM13:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子ども達の教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 県立ワインセンターと大善寺見学コース

- ・県立ワインセンターの見学とワインについての説明
- ・大善寺の見学と講話

イ ブドウの丘の施設見学とワインカーブ見学コース

- ・ブドウの丘の施設見学
- ・大日影トンネルワインカーブの見学及び説明

ウ 宮光園・メルシャンワイン見学コース

- ・宮光園の見学及び講話
- ・メルシャンワイン見学及び説明

エ 葡萄工房ワイングラス館と休息山休息山立正寺見学コース

- ・「葡萄工房ワイングラス館」でのワイングラスの加工体験
- ・休息山立正寺見学と講話

2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月12日(水) 14:00～

(2) 目的 小学校の授業を参観し、情報交換及び懇談をとおして小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 小学校の授業参観

ア 授業提供 祝小学校 全学級

イ 分科会

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの三つの柱と関連して

- ・「授業作り，授業改善部会」
- ・「学級作り，集団作り部会」
- ・「保護者，地域住民との部会」
 - プロジェクトに関わる各校の取り組みについて
 - 中学校児童の生活・学習の様子について
 - 授業を参観しての感想，質問や意見
 - 小学校の指導，中学校の指導等の情報交換

3. 第3回ブロック研究会

(1) 日時 1月21日(水) PM15:00～

- (2) 目的 ①甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトに関わる内容についての講演会を実施し，研究を深めるとともに，今後の指導の参考にする。
- ②小・中の情報交換をすることで，6年生がスムーズに中学校へ入学できるようにする。

(3) 内容 講演会と小・中の情報交換

講演題目 「構成的グループエンカウンター

～ポジティブ・コミュニケーションを目指して～」

講師 都留文科大学 特任教授 品田笑子先生

情報交換：各校の6年生担任が子どもたちの様子について。

中学校より，入学までに指導してほしいことについて。

III 成果と課題

- ・第1回の臨地研修では，各小学校区にある歴史的な建物や産業などについて，より詳しく学ぶことができ，地域に目を開くことができた。
- ・第2回の祝小学校の授業公開では，他校の子どもたちの様子を知ることができ，また，教育方法について考えるきっかけとなり有効だった。また，その後の研究会では，甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの関連を図り，小学校と中学校の先生方が交流しながら話し合いを深めることができた。情報交換の良い場となった。
- ・第3回目の講演会では，集団作りという視点から品田笑子先生をお招きしての学習会であった。実際に教師同士でエンカウンターを行い，コミュニケーションを図ることでエンカウターの有効性を学んだ。品田先生のお人柄を感じるような和やかな雰囲気の中での講演会だった。
- ・臨地研修の場所が同じ場所になってしまうので，変えていく必要がある。
- ・全体で1つの場所に集まり，全員で体験・見学でもよいのではないかと。

(ブロック長 高石圭子)